

平成 20 年度 電気規格調査会 事業報告  
(自平成 20 年 4 月 1 日～至平成 21 年 3 月 31 日)

1. 部会・委員会の新設・解散（JIS 制定・改訂委員会を除く）

(1)新設した標準化委員会

1)標準化委員会の新設

- ・高電圧直流送電システム標準化委員会 兼 IEC/TC115 国内委員会[H20/11]

2)標準特別委員会の新設

- ・半導体電力変換装置標準特別委員会[H20/4]
- ・パワー半導体モジュールの適用法標準特別委員会[H20/5]
- ・電気絶縁の耐熱クラスおよび耐熱性評価標準特別委員会[H20/7]
- ・架空電線標準特別委員会[H20/11]
- ・水車およびポンプ水車の性能換算方標準特別委員会[H21/2]

(2)解散した部会・委員会

1)部会の解散

- ・なし

2)標準化委員会の解散

- ・なし

3)特別委員会の解散

- ・パワー半導体モジュール標準特別委員会[H20/4]
- ・負荷時タップ切換装置標準特別委員会[H21/3]
- ・回転電気機械一般標準特別委員会[H21/3]

(3)「JEC の活性化方策についてのアクションプラン」に基づく部会再編・新設

- ・パワーエレクトロニクス部会 [電気機器部会を再編：H20/7]
- ・電磁環境部会 [電気一般部会を再編：H20/7]

2. 会 合 数

(1)会議種別会合数

規格委員総会	1 回
規格役員会	6 回
政策委員会	6 回
表彰委員会	1 回
部 会	1 9 回
標準化委員会（標準特別委員会及び IECTC/SC 国内委員会を含む）	1 9 6 回
JIS 制定・改訂委員会	1 0 回
<b>合 計</b>	<b>2 3 9 回</b>

(2)部会別会合数

電気一般	0 回
計測制御通信安全	25 回

電気機器	51 回
パワーエレクトロニクス	35 回
原動機	4 回
送配電	45 回
電気材料	21 回
電線・ケーブル	4 回
電磁環境	28 回
合 計	225 回

### 3. JEC 規格および電気専門用語集の制定・改訂状況

#### (1) 制定・改訂，廃止および確認

[制定・改訂]

- ・ JEC-6151「電気絶縁材料の耐熱性試験方法通則」改訂
- ・ JEC-3411「20kV 級(22kV,33kV)架橋ポリエチレンケーブルおよび接続部の試験法」制定
- ・ JEC-2517「送電線保護用比率差動継電器」制定
- ・ JEC-TR-23002「ポリマー形避雷器」制定
- ・ JEC-TR-21003「圧延用交流可変速電動機」制定

[廃止]

- ・ なし

[確認]

- ・ なし

#### (2) 制定・改訂中

(電磁両立性 (IEC/SC77B 国内委員会))

- ・ JEC-TRxxxx 「(仮) 静電気放電イミュニティ試験に関連した SC77B 国内委員会ラウンドロビン調査結果」の制定案

(保護リレー装置)

- ・ JEC-2500-1987 「電力用保護継電器」の改訂案
- ・ JEC-2501 「保護継電器用 EMC 包括試験規格」の制定案
- ・ JEC-2502 「電力用交流電気量のデジタル変換」の制定案
- ・ JEC-2517 「送電線保護用デジタル形電流差動継電器」の制定案

(回転機)

- ・ JEC-TR21xxx 「圧延機用交流電動機」の制定案

(電力用変圧器)

- ・ JEC-2200-1995 「変圧器」の改訂案

(開閉装置)

- ・ JEC-2300-1988 「交流遮断器」の改訂案

(避雷器)

- ・ JEC-TRxxxx 「ポリマー容器型避雷器」の制定案

(パワーエレクトロニクス)

- ・ JEC-2410-1998 「半導体電力変換装置」の改訂案

(絶縁協調)

- ・ JEC-0102-1994 「試験電圧標準」の改訂案

(高電圧試験方法)

- ・ JEC-xxxx 「高電圧試験法一般」の制定案
- ・ JEC-xxxx 「高電圧試験用測定システム」の制定案  
(JEC-0201「交流電圧絶縁試験」, JEC-0202「インパルス電圧・電流試験一般」, JEC-213「インパルス電圧電流測定法」)を統廃合する後継規格の制定)
- ・ JEC-TRxxxx 「デジタルレコーダ性能試験の具体的実施方法(指針)」の制定案
- ・ JEC-0401-1990 「部分放電測定法」の改訂案

(電気材料)

- ・ JEC-6151-1995 「電気絶縁材料の耐熱性試験方法通則」の改訂案

(電線・ケーブル)

- ・ JEC-3411-2008 「20kV級ケーブルおよび接続部の試験法」の制定案

#### 4. 日本工業標準規格(JIS)に係わる審議

工業標準化法(第12条)に基づき、自発的な工業標準原案(JIS原案)の制定・改正を継続し、各々JIS制定・改訂委員会を設置。7件のJIS原案作成を完了。

- ・ JIS C 61000-4-5 「電磁両立性-第4部:試験及び測定技術-第5節:サージイミュニティ試験」改正
- ・ JIS C 4902 「高圧及び特別高圧進相コンデンサ及び付属機器」改正
- ・ JIS C xxxx 「低圧系統内機器の絶縁協調 第1部:原理,要求事項及び試験」制定
- ・ JIS C xxxx 「低圧系統内機器の絶縁協調 第5部:2mm以下の空間距離及び沿面距離を決定するための包括的な方法」制定
- ・ JIS C 2110 「固体絶縁材料の絶縁耐力試験方法」改正
- ・ JIS C xxxx 「固体電気絶縁材料-直流電圧による絶縁耐力の試験方法」制定
- ・ JIS C xxxx 「固体電気絶縁材料-インパルス電圧による絶縁耐力の試験方法」制定

#### 5. IEC活動状況

電気学会が担当しているIEC(International Electrotechnical Commission:国際電気標準会議)国内委員会の数は、3月31日現在で、TC(Technical Committee:専門委員会)が31, SC(Subcommittee:分科委員会)が13である。これらの国内委員会の平成20年度の到着文書数は946件の中で日本としての回答が必要な文書364件に対して244件の国際回答原案を審議・回答した。また出席した国際会議の数は122回、出席者は延べ282名であった。

(1)IEC(International Electrotechnical Commission:国際電気標準会議)規格への、日本規格提案、ならびに日本意見の反映の推進

- ・ IEC/TC115 「100kVを超える高電圧直流送電システム」の国内審議を新たに担当。
- ・ IEC/TC106 「人体ばく露に関する電界・磁界および電磁界の評価方法」に関して、日本提案の“電力線近傍電界磁界測定法”の立案が平成16年12月に承認され、TC106国内委員会に属する低周波委員会電力線WGが中心となってIEC規格提案活動を継続し、平成18年1月に1stCD,平成19年2月に2ndCD発行,平成20年10月にCDV承認,平成21年4月のFDISの発行(平成21年度中のIS化)に向けて活動継続中。
- ・ TC10(電気機器に用いる流体)における天然エステル油の規格化を担当しているPT10-5の

活動を収集し JIS 化も検討。

- ・ TC15(固体電気絶縁材料)における PEN フィルムの IEC 規格化 (15/468/NP (PEN フィルムの仕様) については、CD 付き原案を TC15 国内委員会で作成し、2008 年 12 月に IEC TC15 に関与する各国の投票により承認)
- ・ TC112(電気絶縁材料とシステムの評価と認定)における以下の 2 つの新規プロジェクトは、日本主導 (リーダー) で活動継続中。

PWI 06-09 WG3 “Electrical insulating materials and systems - Electrical measurement of partial discharges (PD) under short rise time and repetitive voltage impulses”

PWI 112-3 Ed.1.0, PWI 07-09, WG8 “Calibration of space charge measuring equipment”

- ・ UHV 国際標準化に関しては平成 19 年 7 月に中国 (北京) で開催された「IEC/CIGRE UHV 国際標準化シンポジウム」に引き続き、平成 21 年 1 月にインド(ニューデリー)にて開催された国際シンポジウムに UHV 国際標準化委員会の関係者が中心となって参加、論文 10 件を発表し、北京シンポジウムのまとめ (UHV の国際標準化が早急に必要で、そのために IEC と CIGRE の協力が不可欠) と更なる協力関係の確立を確認し、成功裏に終了。
- ・ IEC/TC8 「電力供給に関わるアспект」において、UHV(1100kV)を反映した標準電圧 (IEC60038), 標準電流 (IEC60059), 標準周波数 (IEC60196) の CDV が承認され、平成 20 年 11 月にブラジル、サンパウロ開催の国際会議にて FDIS の発行手続きに入ることが決定され、平成 21 年 3 月にそれぞれ FDIS が発行され、回覧中 (5 月投票締め切り)。
- ・ IEC/TC28 「絶縁協調」において、日本の低減電圧を含んだ試験電圧値を反映した CDV が承認され、FDIS の発行準備中。
- ・ 変圧器、開閉装置、避雷器、がいし等、個々の機器規格については、CIGRE で取りまとめる技術報告に基づき IEC にて国際標準化を図ることとしており、両国際委員会に UHV 国際標準化委員会委員が中心となって参画。

(2)電気学会の IEC 国際役員職務は次のとおり。[13 の役職(11 名)を確保]

- ・ IEC/TC14/WG30 「電力用変圧器」：国際主査 1 名
- ・ IEC/SC22F/MT9 「送配電用システム用パワーエレクトロニクス」：国際主査 1 名
- ・ IEC/SC36C 「変電所用がいし」：国際幹事 1 名  
    // /MT9,PT61462,PT62371 : 国際主査 3 名
- ・ IEC/TC68/WG5 「磁性合金および磁性鋼」：国際主査 1 名
- ・ IEC/TC77 「電磁両立性」：国際議長 1 名
- ・ IEC/SC77B/MT12 「電磁両立性高周波現象」：国際主査 1 名
- ・ IEC/TC95/MT1 「メジャリング継電器および保護装置」：国際主査 1 名
- ・ IEC/TC106/PT62110  
    「人体ばく露に関する電界、磁界および電磁界の評価方法」：国際主査 1 名
- ・ IEC/TC112/WG7,WG8 「電気絶縁材料とシステムの評価と認定」：国際主査 2 名

## 6. IEC 文書の審議状況

平成 20 年度の審議状況は、次の通りである。

国内委員会	名 称	到着 文書数	回答数 []は要回答数*1
IEC/TC 2	回転機	59	13[25]
IEC/TC 4	水車	10	2[5]
IEC/TC 8	電力供給に関わるシステムアспект	17	4[7]
IEC/TC10	液体および気体誘電体	19	2[4]
IEC/TC11	架空送電線路	1	0[0]
IEC/TC13	電力量計測・負荷制御装置	34	9[12]
IEC/TC14	電力用変圧器	37	5[12]
IEC/TC15	絶縁材料	97	31[34]
SC15C	絶縁材料仕様	0	0
SC15E	試験方法	0	0
IEC/TC17	開閉装置および制御装置	2	1[1]
SC17A	高圧開閉装置および制御装置	53	10[21]
SC17C	高圧開閉装置および制御装置組立品	25	5[6]
IEC/TC22	パワーエレクトロニクス	9	4[5]
SC22E	安定化電源装置	0	0[0]
SC22F	送配電システム用パワーエレクトロニクス	29	7[14]
SC22G	可変速電気駆動システム	8	2[3]
SC22H	無停電電源システム (UPS)	6	2[2]
IEC/TC27	工業用電気加熱装置	44	4[20]
IEC/TC28	絶縁協調	2	0[2]
IEC/TC32	ヒューズ	7	2[4]
SC32A	高電圧ヒューズ	9	2[3]
IEC/TC33	電力用コンデンサ	2	0[0]
IEC/TC36	がいし	13	1[4]
SC36A	ブッシング	9	1[2]
SC36B	架空線路用がいし	12	4[4]
SC36C	変電所用がいし	7	1[1]
IEC/TC37	避雷器	15	7[8]
IEC/TC38	計器用変成器	6	1[3]
IEC/TC42	高電圧試験方法	17	4[4]
IEC/TC57	電力システム管理および関連する情報交換	71	26[29]
IEC/TC66	計測、制御および研究用機器の安全性	1	0[0]
IEC/TC68	磁性合金および磁性鋼	25	10[11]
IEC/TC73	短絡電流	9	3[5]
IEC/TC77	電磁両立性	9	3[3]
SC77A	低周波現象	45	15[23]
SC77B	高周波現象	32	9[13]

SC77C	高電磁界過渡現象	11	5[6]
IEC/TC78	活線作業	64	20[27]
IEC/TC85	電磁気量計測器	16	5[6]
IEC/TC95	メジャリング継電器および保護装置	27	9[11]
IEC/TC106	人体ばく露に関する電界、磁界および電磁界の評価方法	27	6[10]
IEC/TC109	低圧系系統内機器の絶縁協調	4	2[3]
IEC/TC112	電気絶縁材料とシステムの評価と認定	28	4[7]
IEC/TC114	海洋エネルギー(波力・潮力変換)	17	4[5]
国内委員会 計		946	244[364]
共通・その他(SMB, C, ACOS 他)		500	—
合 計		1446	—

注) \*1:要回答文書は以下のとおり

CDV:投票用委員会原案(Committee Draft for Vote)

FDIS:最終国際規格案(Final Draft International Standard)

NP:新業務項目提案(New work item Proposal)

CD:委員会原案(Committee Draft)

DC:コメント用審議文書(Document for Comments)

DTS:技術仕様書原案(Draft Technical Specification)

DTR:技術報告書原案(Draft Technical Report)

Q:質問票(Questionnaire)

AC:事務連絡文書(Administrative Circular) 回答要求がある場合のみ

## 7. IEC 国際会議出席者

平成 20 年度中に開催された IEC/TC,SC に出席した人数は次表の通りである。

委員会名	会議	開催地	期間	出席者(名)
TC2 延べ8名	TC2 /WG27	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 12~13	2
	TC2 /MT10	サン・アントニオ (アメリカ)	H20. 10. 13~16	2
	TC2 /WG29	サン・アントニオ (アメリカ)	H20. 10. 14	1
	TC2 /WG27	サン・アントニオ (アメリカ)	H20. 10. 17	1
	TC2 /WG31	上虞市 (中国)	H21. 2. 21~26	2
TC4 延べ5名	TC4 /ISO/TC108/SC2-JWG1	オーランド (アメリカ)	H20. 6. 18~19	1
	TC4 /WG14	ウィーン (オーストリア)	H20. 4. 2~3	1
	TC4 /WG14	チューリッヒ (スイス)	H20. 5. 29	1
	TC4 /WG14	グルノーブル (フランス)	H21. 2. 24~26	1
TC8 延べ49名	TC8 /WG29	オスロ (ノルウェー)	H20. 9. 8~9	1
	TC8 /WG3	ジュネーブ (スイス)	H20. 4. 3	4
	TC8 /PT1	ジュネーブ (スイス)	H20. 4. 3	4
	TC8 /WG2	ジュネーブ (スイス)	H20. 4. 4	4
TC8 /AHG5	TC8 /AHG5	ジュネーブ (スイス)	H20. 4. 4	1
	TC8 /PT1	パリ (フランス)	H20. 10. 9	2

	TC8 /AHG5	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 17	6
	TC8 /WG2	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 18	6
	TC8 /WG3	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 18	6
	TC8 /PT1	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 18	4
	TC8 /MT1	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 19	6
	TC8 プレナリー会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 19	6
TC13 2名	TC13 プレナリー会議	ボワチエ (フランス)	H20. 10. 7~8	2
TC14	TC14 /MT6	ミラノ (イタリア)	H20. 3~5	1
延べ 5名	TC14 /MT5	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 17~18	1
	TC14 プレナリー会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 19	2
	TC14 /MT6	トロンハイム (ノルウェー)	H21. 1. 21~22	1
TC15 延べ10名	TC15 /PT60674	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 7	3
	TC15 /WG8	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 7	1
	TC15 /WG9	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 7	2
	TC15 プレナリー会議	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 8~9	4
TC17 延べ16名	SC17A	ベルリン (ドイツ)	H20. 12. 10~11	4
	SC17A /MT36	フランクフルト (ドイツ)	H20. 9. 18	2
	SC17A /MT36	アーネム (オランダ)	H20. 12. 10~11	2
	SC17A /PT43	ハイデルベルグ (ドイツ)	H20. 10. 6~7	1
	SC17A /PT43	グルノーブル (フランス)	H21. 3. 9~10	1
	SC17A /SC17C	ベルリン (ドイツ)	H20. 12. 8~9	4
	SC17C /MT16	ケベック (カナダ)	H20. 7. 8~9	1
	SC17C /MT16	ベルリン (ドイツ)	H21. 1. 21~22	1
TC22 延べ10名	TC22 /PT5	ロスリン (アメリカ)	H20. 11. 10~14	1
	TC22 /PT6	フランクフルト (ドイツ)	H20. 10. 9~10	1
	SC22F 全体会議	西安 (中国)	H20. 10. 29~31	1
	SC22F /WG17	北京 (中国)	H20. 6. 23~24	1
	SC22F /MT10	ストックホルム (スウェーデン)	H21. 3. 3	1
	SC22G /WG10	ニュルンベルグ (ドイツ)	H20. 11. 25	1
	SC22G /MT7	ミラノ (イタリア)	H20. 12. 1~2	1
	SC22G /WG11	フランクフルト (ドイツ)	H20. 9. 29~10. 1	1
	SC22H /MT62040-3	ミラノ (イタリア)	H20. 6. 10~12	1
SC22H /MT62040-3	マイアミ (アメリカ)	H20. 11. 18~20	1	
TC28 2名	TC28 /MT6	グラーツ (オーストリア)	H20. 4. 7~8	1
	TC28 /MT6	パリ (フランス)	H20. 8. 23~24	1
TC32 延べ 3名	SC32A /MT3	アーネム (オランダ)	H20. 9. 17	1
	SC32A /ADHOC	アーネム (オランダ)	H20. 9. 16	1
	SC32C /MT10	カッセル (ドイツ)	H20. 11. 5~6	1
TC33	TC33 /MT21	西安 (中国)	H20. 10. 13	1

延べ 4名	TC33 プレナリー会議	西安 (中国)	H20. 10. 14~15	2
	TC33 /MT19	西安 (中国)	H20. 10. 16	1
TC36 延べ12名	TC36 /WG12	ニュールンブルグ(ドイツ)	H20. 5. 20	1
	TC36 /WG11	ニュールンブルグ(ドイツ)	H20. 5. 21	1
	TC36 /WG11	マンハイム(ドイツ)	H20. 12. 9~10	1
	TC36 /WG11	ヴィースバーデン(ドイツ)	H21. 3. 18~19	1
	SC36A 全体会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 18	2
	SC36B 全体会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 19	2
	SC36C 全体会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 20~21	2
	SC36B /MT10	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 22	2
TC37 延べ12名	TC37 /MT4	ツェヴタット (クロアチア)	H20. 5. 25~27	4
	TC37 /MT4	サンホセ (コスタリカ)	H20. 11. 9~10	4
	TC37 /MT10	サンホセ (コスタリカ)	H20. 11. 13~14	4
TC38 延べ4名	TC38 /WG37	東京	H20. 6. 4~6	2
	TC38 /WG37	バリ (フランス)	H20. 12. 10~12	1
	TC38 /WG37	シカゴ (アメリカ)	H21. 1. 28~30	1
TC42 延べ14名	TC42 /WG14	トロント(カナダ)	H20. 4. 11~12	1
	TC42 /WG14	ルドビカ (スウェーデン)	H20. 10. 13~14	1
	TC42 /MT07	サンパウロ(ブラジル)	H20. 11. 17	4
	TC42 /MT04	サンパウロ(ブラジル)	H20. 11. 18	4
	TC42 プレナリー会議	サンパウロ(ブラジル)	H20. 11. 19~20	4
TC57 延べ9名	TC57 /WG10	モンペリエ (フランス)	H20. 5. 14~23	2
	TC57 プレナリー会議	ソウル (韓国)	H20. 9. 30~10. 1	4
	TC57 /WG10	ブエノスアイレス (アルゼンチン)	H20. 11. 17~21	1
	TC57 /WG10	バーデン (スイス)	H21. 1. 27~28	1
	TC57 /WG10	グルノーブル (フランス)	H21. 2. 6~20	1
TC68 延べ13名	TC68 /JWG	ロンドン (イギリス)	H20. 9. 1	2
	TC68 /WG2	カーディフ (イギリス)	H20. 9. 4	8
	TC68 /WG5	カーディフ (イギリス)	H20. 9. 5	3
TC77 延べ25名	TC77 /WG13	サンタバーバラ (米国)	H20. 5. 5~7	1
	TC77 /WG13	マウルブルグ (ドイツ)	H20. 11. 5~7	1
	SC77A /WG8	ヨハネスブルグ (南アフリカ)	H20. 4. 14~15	1
	SC77A / PT61000-3-15	ミラノ (イタリア)	H20. 5. 19~20	1
	SC77A /WG6	リスボン (スペイン)	H20. 6. 16~17	3
	SC77A /WG1	ベルリン (ドイツ)	H20. 9. 8~12	4
	SC77B /WG10	アビニオン (フランス)	H20. 4. 14~18	2
	SC77B /MT12	レンゲンフェルド (ドイツ)	H20. 6. 9~12	3
	SC77B /CISPR/A, SC77B TEM-JWG	デトロイト (アメリカ)	H20. 8. 17	1
	SC77B /WG10	シンガポール (シンガポール)	H20. 10. 6~10	2
SC77B /WG12	ベナン (マレーシア)	H20. 12. 1~5	2	

	SC77B / CISPR/A, SC77B FAR-JWG	ロンドン (イギリス)	H21. 3. 16~18	1
	SC77Cプロジェクトミーティング	ローザンヌ (スイス)	H20. 7. 26~27	2
	SC77Cプロジェクトミーティング	チューリッヒ (スイス)	H21. 1. 16	1
TC95	TC95 /MT4	サンタモニカ (アメリカ)	H20. 4. 28~5. 1	3
延べ13名	TC95 /MT2	ロンドン (イギリス)	H20. 6. 9~10	2
	TC95 /MT4	ベニス (イタリア)	H20. 9. 1~3	1
	TC95 プレナリー会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 21	3
	TC95 /MT4	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 17~20	3
	TC95 /MT2	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 19~20	1
	TC95 /MT3	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 18	2
	TC95/MT4 TF-121作業会	ベニス (イタリア)	H20. 2. 18~19	1
TC106	TC106 プレナリー会議	フランクフルト (ドイツ)	H20. 10. 9	4
延べ19人	TC106 /WG2/PT62110	パリ (フランス)	H21. 1. 27~28	4
	TC106 /MT2	パリ (フランス)	H21. 1. 28~29	1
	TC106 /MT1	上海 (中国)	H20. 5. 15	2
	TC106 /PT62232	ニューアーク (アメリカ)	H20. 6. 23~25	1
	TC106 /MT1	パリ (フランス)	H20. 10. 23	3
	TC106 /MT1	トリノ (イタリア)	H21. 3. 4	2
	TC106 /WG4	フランクフルト (ドイツ)	H20. 10. 8~10	2
TC109	TC109 /MT1・MT2	フランクフルト (ドイツ)	H20. 6. 3~4	1
延べ3名	TC109 /MT1・MT2	フローレンス (イタリア)	H21. 1. 29~30	2
TC112	TC112 プレナリー会議	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 21	2
延べ12名	TC112 /WG1	シュリューズベリー (イギリス)	H20. 4. 30	1
	TC112 /WG2(SC45Aリエゾン)	ロンドン (イギリス)	H20. 3. 31~4. 2	1
	TC112 /WG2(SC45Aリエゾン)	フォースマーク (スウェーデン)	H20. 9. 25~26	1
	TC112 /WG3	キスタ (スウェーデン)	H20. 5. 13	1
	TC112 /WG3	サンアントニオ (アメリカ)	H20. 10. 16	2
	TC112 /WG6	バンクーバー (カナダ)	H20. 6. 12~13	1
	TC112 /WG7	シュリューズベリー (イギリス)	H20. 5. 1	1
	TC112 /WG7	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 17	1
	TC112 /WG8	バンクーバー (カナダ)	H20. 6. 12	2
	TC112 /WG8	サンパウロ (ブラジル)	H20. 11. 17	1
TC114	TC114 プレナリー会議	オタワ (カナダ)	H20. 5. 14~15	2
延べ3名	TC114 /T62600-100	エディンバラ (イギリス)	H20. 12. 2	1
UHV国際	Joint IEC-CIGRE Coordination Group	ニューカッスル (イギリス)	H20. 4. 1	5
延べ29名	Joint IEC-CIGRE Coordination Group	ジュネーブ (スイス)	H20. 10. 1	4
	IEC & CIGRE UHV国際標準化シンポジウム	ニューデリー (インド)	H21. 1. 29~30	13
	Joint IEC-CIGRE Coordination Group	ニューデリー (インド)	H21. 2. 1	7
合計	—	—	—	324

## 8. JEC 活動の運営改善と活性化の推進および顕彰

- ・「JEC のあり方について-活性化方策に対する提言」に対する具体的な施策として「電気規格調査会活性化方策についてのアクションプラン」を策定し、新分野、新技術に対応するために政策委員会をはじめとした関連する組織の役割明確化、部会の再編成（電磁環境部会、パワーエレクトロニクス部会の設置 ほか）、インターネットホームページや学会誌等の活用や説明会の開催による広報活動の充実など、具体的な活動を継続。
- ・事業維持員会費を原資とする IEC 国際会議出席旅費支援制度を継続実施。（延べ 6 名）
- ・電気規格調査会表彰制度に基づき、電気規格調査会功績賞、功労賞の表彰を実施。

[功績賞] 1 名および 1 委員会

- ・可変速駆動システム標準特別委員会  
変換器電圧が千ボルトを超える交流可変速駆動システムに関する電気規格調査会標準規格「高電圧交流可変速駆動システム」の制定
- ・田中立二氏：電力システム管理および関連する情報交換分野の発展・向上とその標準化推進に関し、わが国の中心的存在として活躍

[功労賞] 2 名

- ・古関庄一郎氏：パワーエレクトロニクス技術の発展・向上とその標準化推進に関し、わが国の中心的存在として長年にわたり多大な貢献
- ・西村誠介氏：電線・ケーブル技術ならびに高電圧試験技術の発展・向上とその標準化推進に関し、わが国の中心的存在として長年にわたり多大な貢献

## 9. 国内外の標準化機関との協力および連携

- ・UHV 国際標準化に向けて CIGRE と共同し規格審議を推進  
SB1 分科会からの協力要請に対応し設置した UHV 国際標準化委員会を中心にして、JICCG (Joint IEC-CIGRE Coordination Group) によって、技術分野ごとの UHV 関連規格開発を推進。
- ・経済産業省が策定した「国際標準化活動アクションプラン」に基づく、IEC 審議団体への各種制度の活用による、国際標準化活動の支援。
  - 1) 国際業務支援制度の活用（平成 20 年度：国際議長 TC77, 国際幹事 SC36A）
  - 2) IEC 重点 TC 国際会議出席派遣事業制度の活用（延べ 16 名）
  - 3) IEC（新規分野・産業競争力強化型国際標準提案）に関する受託契約の締結
    - ・国際回答原案作成請負契約の締結（31 の TC, 13 の SC JEC 担当の全 TC/SC）
    - ・国際規格共同開発委託 (TC106 電力線 WG 平成 20 年度完了)
    - ・基準認証研究開発委託 (TC112 インパルス放電計測 WG H20 年度から 3 年間)
  - 4) 国際会議出席旅費支援制度（日本規格協会）の活用（延べ 5 名）
  - 5) 国際会議の日本開催支援制度の活用（平成 20 年度 1 件 IEC/TC38/WG37）

以上